

## 研究成果刊行に関する一覧表

1. Kitajima T, Shakya P, Sawada T, Miyakubi H. Sexual behaviors and associated factors among international students at Japanese language schools in Japan. A poster presented at 51<sup>st</sup> APACPH conferentc, Bangkok, November 20-22, 2019.
2. 北島勉、Prakash Shakya、宮首弘子、沢田貴志 日本語学校留学生の HIV 検査に関する知識と利用その関連要因に関する研究 第 34 回日本国際保健医療学会学術集会、2019 年、三重.
3. 沢田貴志. 在住外国人の SDH に取り組む多様な社会資源連携の経験から学ぶ. 第 34 回日本国際保健医療学会学術集会、2019 年、三重
4. 沢田貴志. 在日外国人の結核・HIV の動向から見えてくる日本の SDGs 実現のための一提言. シンポジウム "持続可能な開発目標(SDGs)における保健と貧困対策". 第 34 回日本国際保健医療学会学術集会、2019 年、三重
5. Yasukawa K, Sawada T, Hashimoto H, Jimba M. Health-care disparities for foreign residents in Japan. *Lancet*393:873-874;2019 (corresponding author)
6. 沢田貴志. 持続可能な医療通訳制度とは: 日本社会の近未来像から制度を考える. *日本渡航医学会誌* 13:56-59;2019
7. 沢田貴志, 山本裕子, 塚田訓久, 横幕能行, 岩室紳也, 樽井正義, 仲尾唯治. 日本における HIV 陽性外国人の受療を阻害する要因に関する研究. *日本エイズ学会誌*. in print
8. 宮首弘子 「医療通訳者研修におけるロールプレイの定量的評価の試み」 『杏林大学外国学部紀要』第 32 号 111-130; 2020.